

高校1人1台端末 授業ではこう使われます

令和4(2022)年9月から、県立高校1年生を対象に1人1台端末の本格運用が始まりました。中学校で1人1台端末を使いこなしてきたみなさんが、高校でも同じように学習に取り組めるようになっていきます。

また、県立高校では生徒全員にMicrosoft 365(マイクロソフトサンロック)、Google Workspace for Education(グーグル ワークスペース フォー エデュケーション)という2つのプラットフォームが使えるアカウントが配付されています。これらを活用して、共同編集機能と自動集計機能を生かした授業が行われます。

活用例:地歴公民科→ 共同編集(同時に書き込む)機能で意見を共有する対話的授業

活用の概要

Microsoft365
Teamsを使
います

TeamsでExcelシートを共有。生徒は単元を貫く問いについて授業のはじめに自分の考えを書き込みます。授業の最後に学習後の考えがどう変わったかも一度書き込みます。クラスの意見は共同編集でリアルタイムに共有され、お互いの意見から学ぶことができます。対話や議論で学習を深めていきます。

Teamsでクラスのチーム
が作成され、メンバーに

自分の考えを入力しながら、
他の人の考えも知る

先生・生徒同士で対話しな
がら学びを深める

1	本時の問い「なぜ激安ジーンズが作られるのか」		
2		ニックネーム	あなたの考え(授業のはじめ)
3	1		
4	2		

自分の端末で入力
するから意見を書き
やすいな。みんなの
意見も参考になる!

キーワード①

ICTを活用した協働的な学び

共同編集機能は、ICTの長所の1つです。

上記の例以外にも、グループ発表スライド作成をメンバー全員で協力し同時に作業を進めることもできます。

沖縄県では、右図のような1人1台端末本格運用のためのガイドを作成し、全県立学校に配布しました。

各学校の校内研修等での活用が進んでいます。

Teamsでファイルを共有

Openアカウントでログインすればどこからでもどの端末でもチャンネル内のファイルを編集できる

教師はExcelで原本をつくりコピーをチャンネルへ配布

生徒は各自で進捗状況を共同編集で随時書き込む

PowerPoint
生徒はスライドごとに書き込む内容を分担して共同編集する

バージョン履歴で以前の状態に戻る

キーワード②

ICT を活用した個別最適な学び



沖縄県ではこれまでも「人」1台端末本格運用に向け研究を進めてきました。英語の公開授業では、タブレットや紙のワークシート等、教材を生徒が自分に最も合う媒体で開いて音読練習に取り組む様子が見られました。

また、端末で振り返りシートを記録することで、良かった点や改善すべき点に向き合い、生徒が自ら考えて学習を調整していくことも期待されています。



活用例:外国語(英語)科 → 自動集計機能で確認テストの結果が即座にフィードバック

活用の概要

Microsoft365
Formsを使
います

Forms で確認テストを実施。生徒が各自の端末で回答・送信すると、採点結果が即座に返却されます。その場で自分の学習を振り返ることで、理解できていなかったところはどこか、次はどこに力を入れて勉強すればいいかが分かります。採点が効率化されることで、先生も生徒1人ひとりに対応する時間が増えます。

Forms の確認テストを端末
で入力して回答を送信

正解不正解の理由も含めた
結果を即座に返却

先生は生徒の質問や疑問に
答える時間ができる

確認テストの返却、
これまでは翌日か翌週だったけど、すぐ
に結果が出た！復習に生かそう！

先生も1人ひとりに
声をかけてくれるから
質問しやすいな。次の
テストも頑張ろう！

こんな授業実践やアイデアも

- ・農業 端末を活用し、実習の振り返りをポートフォリオに記録。ポスター発表は共同編集で作成
- ・書道 各自の書いた作品を撮影し共有。動画で自分の運筆や先生のお手本を確認できる授業
- ・体育 体の動きを「人」1台端末でお互いに撮影し動画で確認。体育カードは共同編集で記入

ICT を活用した個別最適な学びと協働的な学び

→ 「人」1台端末は鉛筆やノートと並ぶマストアイテムに